

平成24年度 学校評価（学校関係者）の結果について

平成25年6月15日

四條畷学園大学附属幼稚園

平成24年度に四條畷学園大学附属幼稚園において実施致しました学校評価（関係者評価）の結果について以下の通り報告致します。

保護者の皆様には幼稚園をよくするためにアンケートにご協力いただきまして心より御礼申し上げます。

■学校評価の実施方法

- 1) 実施時期 平成24年11月
- 2) 調査対象 幼稚園の保護者全員
- 3) 評価項目 保育活動全般および園に対する全体的評価を行いました。
- 4) 評価方法 各項目について5段階評価を行いました。記載の評点は平均点です。

- | | |
|------------------|------|
| 5：大変そう思う | (5点) |
| 4：どちらかといえば、そう思う | (4点) |
| 3：普通 | (3点) |
| 2：どちらかといえばそう思わない | (2点) |
| 1：全く思わない | (1点) |

□平成24年度の幼稚園教育目標

1. 健康な子どもに育てます（体の力）
2. 自ら考え行動する子どもを育てます（学ぶ力）
3. 思いやりと優しさのある子どもに育てます（心の力）

■評価の重点項目

- ①保育内容と保育の成果
- ②園児と教員の望ましい関係
- ③保護者と教員の望ましい関係
- ④幼稚園の保育環境

■評価の概要

幼稚園に対する全体的評価、保育内容・行事、保護者と教職員の信頼関係、施設・設備・環境など、それぞれの項目において、概ね良い評価を頂いていますが、一方で今後さらに改善に向けて取り組む必要がある項目も浮かび上がっています。

【高い評価を得ているもの、または改善傾向にある項目】

- 1、四條畷学園大学附属幼稚園に入園して良かったと思う。
- 2、先生は相談しやすいと思う。
- 3、子ども達は先生に親しみを持っていると思う。

【今後の改善を要する項目】

- 4、幼稚園の環境、施設、設備は良いと思う。
- 8、子ども達への安全確保に注意が払われていると思う。
- 9、課外教室は満足していると思う。

■アンケートの集計結果

保護者の皆様への質問項目と集計結果は以下の通りです。記載の評点は平均点です

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
1	四條畷学園大学附属幼稚園に入園して良かったと思いますか	4.8	4.8	4.7

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
2	先生は相談しやすいと思う	4.5	4.5	4.4

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
3	子ども達は先生に親しみを持っていると思う	4.7	4.7	4.5

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
4	幼稚園の環境・施設・設備は良いと思う	4.1	4.3	4.2

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H21年度
5	子ども達は、幼稚園でマナーを身につけてきていると思う	4.3	4.3	4.2

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
6	保育内容は充実していると思う	4.5	4.5	4.3

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
7	子ども達の参加する行事は満足していると思う	4.5	4.5	4.4

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
8	子ども達への安全確保に注意が払われていると思う	4.2	4.3	4.1

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
9	課外教室は満足していると思う	4.2	4.3—	—

番号	質 問	評 点		
		H24年度	H23年度	H22年度
10	早朝預かり・預かり保育は便利だと思う	4.6	4.7—	—

【概評】

本学園の建学の精神「報恩感謝」をもとに教育目的・目標を達成するため、一人ひとりを大切に、たくさんの達成感や時には失敗も経験しながら子ども達の将来を見据えてのびやかな心を育む教育を目指しています。

学校評価を行うことによって教育内容や指導方法が明確になり幼稚園を良くするため今後の改善に取り組んでいきたいと思ひます。

平成24年度は、教職員と保護者と子どもとの信頼関係を重点目標として取り組んでまいりました。最初の3項目については、真摯に受け止め改善策を明確にしていく必要があると思ひます。

1、2、3は、保護者との信頼関係の評価です。昨年と同じで評価に変動はありませんが、今後もさらに評価を上げるためには、保護者のニーズに応え子ども一人ひとりを大切にしたい教育で、子ども達が楽しんで活動に取り組むことが出来る様に教職員の研鑽を重ねていく必要があります。

4、は教育環境に対する評価です。園舎の教育環境の整備、美化に努めています。しかし、保護者の評価は昨年より低く厳しくなっているのが現状です。平成25年度からの建て替えで、今後、教育環境は改善されるものと思ひれます。仮園舎移動に関しては、教育面や安全面など保護者の不安が考えられるので、説明会などを実施し対処していきまひます。

5、6は教育（保育）内容に対する評価です。昨年と同じですが評価は高くないので、引き続き基本的な生活習慣の習得、マナーの指導を徹底していき、保護者の協力も必要があると思ひます。

8、は教育環境に対する評価です。教職員は防犯教室での指導を生かし、不審者の侵入防止、早期発見対策や登降園の安全面など徹底していきまひます。又保護者には、保護者証提示に全面協力を得られるようにしていきまひます。

9、は保護者の希望時間に添えない場合があり、早朝から並ぶことに対しての不満から十分ではないと評価されています。保護者の意見を参考にしながら選択方法を検討していきまひます。

■今後の幼稚園運営のあり方

保護者による学校評価の結果を受け、教育課題を解決するために学校評価を謙虚に受け止め改善に努めていきたいと思ひます。また、教育内容を充実させ、更に、教職員の資質向上に努めていきたいと思ひています。